

1521

「メキシコ征服」再考

2021年は、メキシコ征服からちょうど500年の年にあたります。本公開講演会では、「メキシコ征服」をテーマとし、この出来事の意義を多角的に検証します。第1部の講演では、メキシコ征服そのものの歴史的な位置づけを問い直します。第2部のパネルディスカッションでは、多様な分野に携わる第一線のメキシコ研究者の方々から、メキシコ征服をめぐる様々な問題提起をいただきます。その上で、講演者とパネリスト全員がフロアからの質問を交えながら議論します。世界史やメキシコ・ラテンアメリカの文化に関心のある一般の方々や学生の皆様のご参加をお待ちしております。

【第1部 午後2:00～2:45】

講演 井上 幸孝 「メキシコ征服」の歴史的意義

【第2部 午後2:50～午後5:00】

パネルディスカッション ～メキシコ研究と「征服」～

報告①: 大越 翼 マヤ学者から見た「アステカ王国の征服」:マヤ人たちの16世紀

報告②: 青木 利夫 先住民教育にみる「征服の不条理」

報告③: 渡辺 裕木 征服前後の文化遺産がメキシコ国民のアイデンティティ形成に与える影響

報告④: 嘉幡 茂 メキシコ考古学とナショナリズム:コイントスから考える歴史解釈

報告⑤: 小林 貴徳 現代メキシコを生きる先住民族:アステカ王国辺境地帯のいま
全体討論

2021年2月26日(金)午後2時～5時
定員:80名(先着順)

※事前申し込みが必要です

右記QRコードを読み取るか、以下URLより申し込みください。

<https://forms.gle/gbQQFAUoFo1zGd3q7>

問い合わせ先: conquista1521@yahoo.co.jp (参加申し込みは上記URLからお願いします)



1521 「メキシコ征服」再考

講演者・パネリスト プロフィール

井上 幸孝(いのうえ ゆきたか)

所属:専修大学 国際コミュニケーション学部 教授

専門:歴史学(アステカ史、メキシコ植民地時代史)

主な業績:『メソアメリカを知るための58章』(編著、明石書店、2014年)、『人間と自然環境の世界誌—知の融合の試み』(共編、専修大学出版局、2017年)、『マヤ・アステカ文化事典』(日本語版監修、椋風舎、2020年)。



大越 翼(おおこし つばさ)

所属:京都外国語大学 外国語学部 教授、京都外国語大学 ラテンアメリカ研究所 所長

専門:マヤ社会のエスノヒストリー、マヤ文献学

主な業績: *Maya Kingship: Rupture and Transformation from Classic to Postclassic Times* (共編、University Press of Florida, Gainesville, 2021); "17. Colonial Maya Discourse on the Rupture and Transformation or Continuity of Pre-Columbian Kingship: An Ethnohistorical Analysis" (in *Maya Kingship: Rupture and Transformation from Classic to Postclassic Times*, University Press of Florida, Gainesville, 2021).



青木 利夫(あおき としお)

所属:広島大学大学院 人間社会科学研究科 総合科学部 教授

専門:メキシコ教育社会史

主な業績:『20世紀メキシコにおける農村教育の社会史—農村学校をめぐる国家と教師と共同体』(単著、溪水社、2015年)。『生活世界に織り込まれた発達文化—人間形成の全体史への道』(共編、東信堂、2015年)。「ストリートで働く新聞売りの子どもたち—20世紀前半のメキシコ・シティの貧困のなかを生きる」(樋口映美編『歴史のなかの人びと—出会い・喚起・共感』彩流社、2020年)。



渡辺 裕木(わたなべ ゆき)

所属:国立民族学博物館 外来研究員

専門:メキシコ文化遺産(動産)保存修復、博物館学

主な業績: *Restauración y encuadernación de 55 libros del Fondo Quijotil* (共著、ADABI de México, 2019); *La zona arqueológica del Templo Mayor como un espacio museal: análisis del material interpretativo* (単著、INAH-ENCRyM, México, 2015); 「メキシコ市ソカロにおける空間の捉え方と活動の変遷」(共著論文、『ランドスケープ研究』81 巻 5 号、2018 年)。



嘉幡 茂(かばた しげる)

所属:京都外国語大学 国際言語平和研究所 嘱託研究員

専門:メソアメリカ考古学、パブリック考古学

主な業績:アルフォンソ・カソ最優秀賞(2011年)、『図説マヤ文明』(単著、河出書房新社、2020年)、『メソアメリカ文明ゼミナール』(共編著、勉誠出版、2021年)。



小林 貴徳(こばやし たかのり)

所属:専修大学 国際コミュニケーション学部 准教授

専門:メキシコ地域研究、文化人類学

主な業績:『メソアメリカを知るための58章』(共著、明石書店、2014年)、『古代アメリカの比較文明論:メソアメリカとアンデスの過去から現代まで』(共著、京都大学学術出版会、2019年)、『メソアメリカ文明ゼミナール』(共著、勉誠出版、2021年)。

